

# NEWSLETTER

ミャンマー企業訪問

## Myanmar DRK Co., Ltd. 宮崎 Managing Director



写真：宮崎 Managing Director  
Web: <http://myanmar-drk.com/jp/>  
Address: Room-6/A, Building 22, Zayyar  
Thiri condo, Zayyar Thiri Street, 1st Quarter,  
Kamaryut Township, Yangon, Myanmar

**Q Myanmar DRK Managing Directorの宮崎様にお話を伺います。会社と宮崎様のご紹介をお願いします。**

IT企業働楽（どうらく）HDの西島社長が以前よりメコンデルタへの進出の構想を持っておられたことを知り、社長へミャンマー進出のFS実施を提案し一緒にミャンマーを訪問しました。FS調査の際の印象が非常によく、ミャンマーの人々は親日的で極めて協力的でした。そこで西島社長は現地法人の設立を実行に移され、私が現地法人のMDへ就任し駐在することになりました。当社の業務の柱の1つは日本の業務に携わるためのミャンマーの優秀な人材を発掘・教育することです。多角展開を目的にオフショア開発や飲料の自動販売機オペレーションビジネスも始めています。わたし個人は長年日立製作所に勤め、海外担当としてアジア各国に日立のコンピュータシステムを輸出する業務に携わり、2000年頃には経済産業省の外郭団体であるCICC（国際情報化協力センター）に出向しアジアの優秀なIT人材を年200人ほど日本へ招聘し研修を提供する業務を担当していました。現在では研修の卒業生がミャンマーにおけるIT分野の第一線で活躍されており、コンピュータ大学の学長、IT企業の幹部等と当時の長いお付き合いです。

**Q ミャンマーのIT産業の現状はいかがですか。**

学生は頭脳明晰で日本の情報処理技術者資格試験では日本より合格率が高いです。ただ、教育現場では座学中心で実践的な教育が足りないことが問題です。また人材という点では従業員の定着率の低さが問題です。目先の技術を会得したらプロ

ジェクトを率いる経験をしないまま高給を求めて転職を繰り返す傾向があるため、マネージャークラスの技術者が不足しています。ミャンマーではまだシステム化の土壌が成熟しておらずプリミティブな環境ですが、今後ミャンマー企業のIT投資が増えれば業界自体が伸びるでしょう。NLD政権が農業政策を重視しており、業界団体では農業のIT化の実証実験に取り組んでいるそうですよ。

**Q 牛で耕すところから一気にIT化とは！自販機のご紹介もぜひお願いします。**

ミャンマーへの自販機の導入が初めての試みなので、苦勞の連続です。当初自動販売機の設置場所として目論んでいた場所がいざ設置の段階になって無理な幹部の拒絶により設置できなくなりました。これは自販機に対する認識の欠如が原因で、異文化でビジネスを提案することの難しさを痛感しました。その後設置場所の開拓に努め現在は大学、オフィスビルあるいは病院等数カ所に設置をシテストマーケティングを続けています。

**Q 契約・約束が反古になる他事例も聞きます。最後に読者の皆様へのアドバイスをお願いします。**

いかにミャンマーの企業・人々との付き合いの輪を広げるか、特に必要とする人材を確保することがポイントです。日本的な考え方をそのまま持ち込んでくるのではなく現地への理解が大切です。弊社はミャンマーの優秀なIT人材の発掘・教育に力を入れており、他のIT企業様のご相談も承ることが出来ますので、ぜひご連絡ください。

宮崎MD、ご協力ありがとうございました。

## ミャンマー会計税務 トピック

### 【2016年2月税務上の減価償却率変更】

Myanmar Income Tax Regulationにて規定する税務上の減価償却率に対する変更が2月の財務省アナウンスメントにて発表されました。前回の変更は2015年であり約1年での改定となります。今回の変更は2015-2016年度に適用されるため、2016年6月を期限とする税務申告分が対象となります。例えば1級工場年率2.5%、ホテル等の家具年率6.25%、車両年率12.5%（レンタル用の場合20%）、オフィス機器年率10%等となります。



Photo by Nakayama